

サポートシステムを活用した目標地図の素案作成に向けた取組

神奈川県 厚木市

認定農業者等数

67経営体

農地面積

1,250ha

主な農畜産物

ナシ、トマト、イチゴ、
豚肉等

厚木市の現状・課題

厚木市の路線は小田急小田原線のみですが、インターチェンジは計画中の2箇所を含めると7箇所あり、転用需要がとても高いです。

調整区域内の農地だけでも毎年、10ヘクタール以上の農地が転用されており、高齢化や後継者不足により、転用が加速しています。

協議の場合等で、10年後の農地利用について、地域のみならず厚木の農業を守っていくという共通認識を持つことが喫緊の課題です。

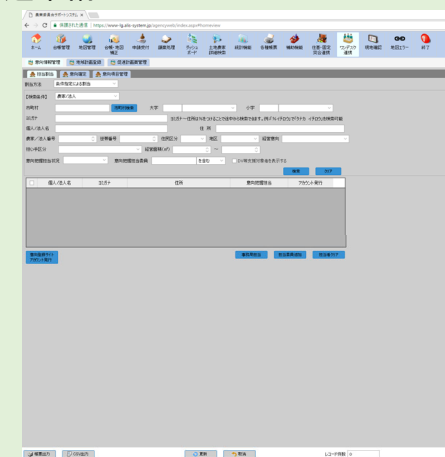


取組概要①

意向調査票の発送準備

意向調査票の準備にあたり、サポートシステムのワンデスク連携機能で、農家の情報を出し、用意した意向調査票に差し込み印刷を行います。

封筒を窓付きにすることにより、誤発送を防止することや意向調査の説明が記載されたチラシを同封することにより、受け取った農家の方が理解しやすいようにする工夫を行っています。

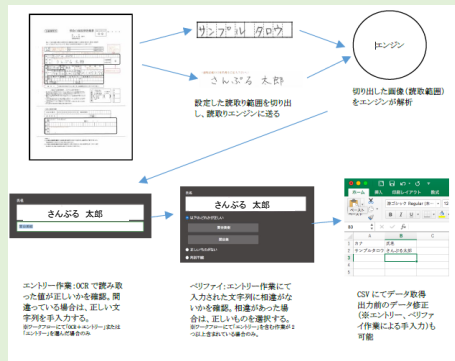


取組概要②

AI-OCRを活用した意向調査結果の登録

紙で提出していただいた、対象者の方については、紙に記入されている文字等をAI-OCRでデータ化し、CSVファイルとして出力した後、サポートシステムへの取り込みを行います。

サポートシステムには、台帳・地図補正の一括更新補正やCSV取込補正の機能を利用し、データを取り込むことが可能です。

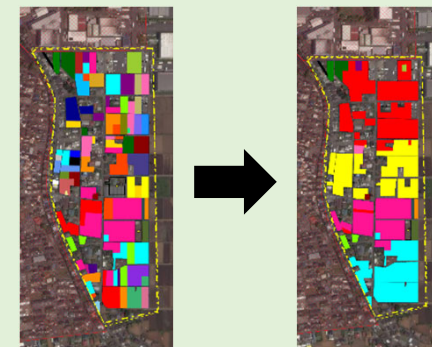


今後の取組方針(予定)

地図管理機能を活用した目標地図の素案作成

各農業者の意向を踏まえて、地図管理のシミュレーション機能により、目標地図の素案を作成する予定です。

目標地図の素案については、令和5年12月末を目途に作成する計画を立てております。



縮小意向の方から拡大意向の方へ集約するシミュレーション